



異次元の素材メーカーの礎となる 品質保証体制の 構築を進めています。

「異次元の素材メーカー」としての 品質保証

日軽金グループは、アルミ素材を軸とし、さまざまな分野で強みや専門領域を持った企業集団です。グループ各社が持つ技術やノウハウを融合させ、「お客さまにこれまでになかった満足と喜びを提供できる」製品を生み出す「異次元の素材メーカー」を目指して、製品開発に取り組んでいます。

他方、新たな技術が融合した製品を安心してお客さまにお使いいただくためには、それを保証するための新しい「異次元の素材メーカー」としての測定、検査、分析技術の開発が不可欠となります。品質保証統括部門では、こうした新しい品質保証技術を確認するため、品質監査、品質自主研、個別支援などの機会を通じて、新しい材料、部品、工程管理手法や検査方法の確立などのサポートを行っています。例えば、構造物補強材の強度保証方法の確立や、サプライヤー・マネジメントについての支援などを行いました。

品質を守る

品質監査

日軽金グループは、毎年国内外の各拠点を対象に品質監査を実施しています。品質監査で発見された問題点に対し、被監査部門と課題を共有し、品質保証レベルの向上を目指す活動です。2016年度は従来の監査項目に加え、工程内で使用している検査設備の管理・保証方法の確認を行い、64拠点全てで問題がないことを確認しました。

品質総点検

2016年度に、お客さまと取り決めた要求仕様と異なる製品を納入してしまった事例が発生しました。この事例を受けて、日軽金グループでは、全製品・サービスに対

して「お客さまの要求通りの製品・サービスを提供していたか」を確認する品質総点検を実施しました。点検した総数は51,108件となり、そのうち記録が不十分だったり、仕様の詳細が不明確だったりする事例が148件発見されました。発見された課題に対しては早急に是正を指示し、是正内容を確認しました。さらに、再発しないしくみとなっているかを品質監査の中で確認しています。

製品含有化学物質管理

日軽金グループは、製品含有化学物質に関する法令・規制に対して適切に対応できるよう、管理体制の強化を図っています。化学物質に関する規制は強化・更新されており、これを自社製品に確実に展開しなければなりません。このため、品質保証統括部門が規制強化の動向を注視し、事業部門に対して最新情報を提供できる体制をとっています。さらに、新しく追加された化学物質に関しては、統括部門と事業部門が相談・協議をしながら対応にあたっています。

品質監査の様子



ニッセイ・サイアム社(パネル部門)(タイ)



広西正潤日軽高純鋁科技有限公司(中国)

下関日軽㈱

品質を育てる

品質自主研

日軽金グループは、2014年度より「グループ全体の品質保証レベルの向上」を目的とした品質自主研を実施しています。品質自主研とは、品質保証を担える人材を育成するためのプログラムです。グループ各社で開発・製造・販売など、製品に直接関わるメンバーが工場を道場として、実際の製品や製造工程を題材にして改善活動を行い、品質管理の向上や品質保証の確立のための考え方や手法を学びます。このプログラムを通じて輩出された人材は、「異次元の素材メーカー」の品質保証体制を構築する礎のひとつとなっています。



品質自主研の様子

品質自主研プログラム(年2回、毎年各社が参加)

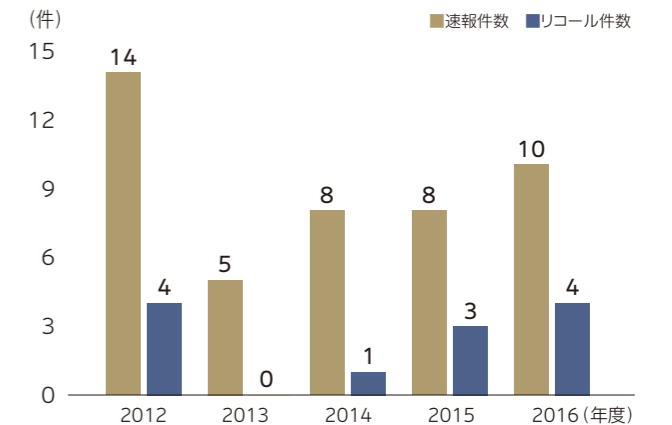
- 道場となる工場の選定
- 実際の生産活動から改善テーマを決定
- 改善に必要な手法、ツールの検討
- チームを分けて改善活動を実施(全3回、計7日間)

品質をツナグ

品質速報

日軽金グループでは、品質保証において重要な問題になる可能性がある事例が発生した場合は、発生の原因に関わらず、品質速報として情報を即時グループ内に展開しています。2016年度は10件の速報がありました。

品質速報およびリコール件数



グループ品質委員会

日軽金グループは、品質担当役員を委員長とする「グループ品質委員会」を年2回開催しています。委員会では、グループの品質方針の伝達、品質マネジメント推進計画の承認、グループ内で発生した品質問題や品質監査の結果などの共有などを行っています。さらに、グループ討議も行っており、2016年度は「仕様違いの未然防止」をテーマに討議し、さまざまな業種で異なる考え方や共通する課題を共有することができました。さらに、この委員会を通じて品質委員間のネットワークをつなげています。

製品・サービスの提供における法令違反件数

2016年度は、製品・サービスの提供において、法令違反はありませんでした。